



「氣」とは何ぞや?

“青い眼”の合氣道家

シティー・シーガル君を訪ねて

ここに登場するは24歳のアメリカ青年。姓名をシティー・シーガルという。神戸に来て二ヶ月。

そして、ここは、芦屋青少年センターの柔道場。たゞ今、合氣道の練習の真最中。が、その面々、文字通りちよいと毛色が變っている。教えるのはシーガルさん。習うのもこれまた外国人。大人から子供まで色々——。

合氣道については純粹無知の小生、しばしの“観戦”と決め込んだ。

「大切ナノハ『氣』デスネ。『氣』トハリらつくすデスネ。ペラペラペラ……(以下英語)」。解説が終ると各自練習。その繰返し。

さて、練習も終った。英語の教師だというミスター・タムラとミス・マクナルティの二人に質問。何故、合氣道をやるのか? その答。空手や剣道のようには技だけじゃない。「心」と「氣」がわかるから。他の国技では心がわからない。合氣道には深い考えがある。合氣道を知つて嬉しかった、と異口同音にいう。またしても「氣」。氣になるなあ……。

シーガルさんの弟子である(といつてもズッと年配)ロバート・ハースさんにきいてみよう。この人は、11年前にニューヨークで合氣道を始め、五年前に来日、今は御影に住んでいて、奥さんはヨガの先生。実はニューヨークにいたとき、彼は挫折をしていた。何故か? 「氣」と「心」を全然教えてくれなかつたからだ。が、今や、シーガルさんと一緒に練習、「心」と「氣」の修練に励んでいる。本当の合氣道には残虐なところがない。相手

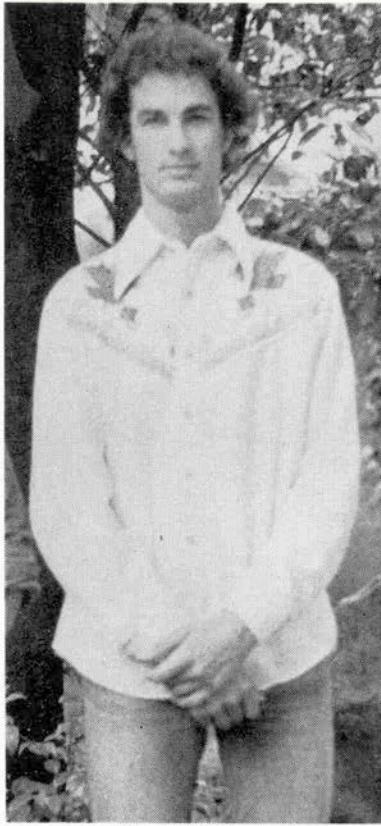
にダメージを与えないからという。

ここでシーガルさん登場。

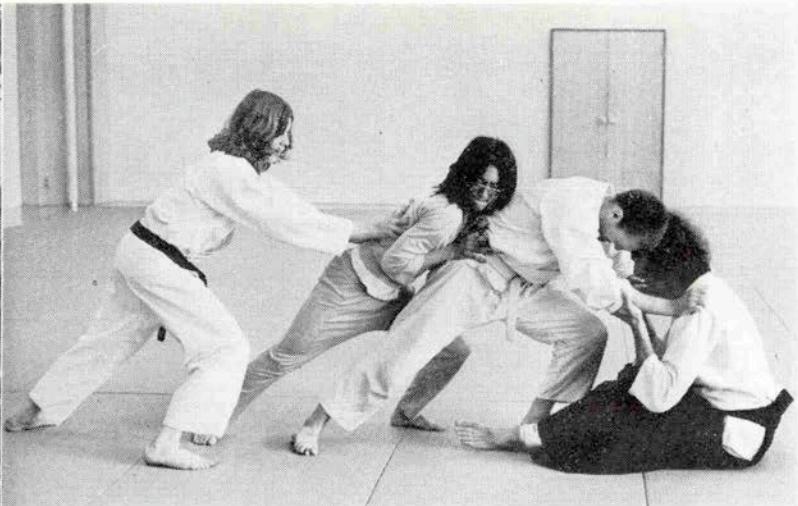
一つのたとえ噺をしてくれた。昔々、三人の息子を持つたサムライがありました。彼はある日、三人の息子を呼んでこういいました。「ワシのあと継ぎを決めたい。そこで、某月某日、それぞれの時間にワシの部屋へ来るよう」。その日、一人が部屋へ入ろうとすると頭上から物が落ちて来た。刹那、彼は小刀を抜いてそれを払った。別の一人は、手でそれを払いのけた。そして、最後の一人は部屋へ入る前に殺氣を感じて身をよけた。サムライは三人目を彼のあと継ぎとした、云々。

合氣道の「氣」とはこれだと彼はいう。たとえば、ものを見ているとき、急にうしろから背中を押されてもビクともしない。また、シーガルさんは実際に友だちとクルマに乗つっていたとき事故に会つた。そのとき友だちは怪我をしたけれどシーガルさんは無事だった。これも「氣」のおかげである。「氣」とは總ての人間にあり、訓練によって引き出せるものらしい。

話を総合すると何となく「氣」というものが分つたような気がする。それでも瞬に落ちない顔をしているといいに人体実験!? 「イイデスカ。右腕ヲ真ツ直グニシテ水平ニ上ゲテ下サイ。ハイ、力ヲ入レテ下サイ」。シーガルさんが力を入れると抵抗虚しく腕は折り曲げられた。「ジャ、力ヲ抜イテ下サイ。指先カラズウツ遠クヲ見テ下サイ。りらつくすシテ下サイ」。こちらとしては無我の境地(?)。すると、成程、シーガルさんが力を入れ



▲チャキリス風な合気道家シーガル君



▲押してもダメなら……ン……引いてもダメだ。右端がシーガルさん

ても腕は全然曲がらないではないか！ 「アナタハコレ
デ分ツテクレマシタネ」。ハイと一言。

そして 結論。これは頭で分らうとするからダメな
である。まず、身体で分ることである。一番いいのはシ
ーガルさんから合気道を学ぶことかも分らないなあ……
現在、シーガルさんは、カナディアン・アカデミー・や芦
屋青少年センターなどで教える一方、プライベートにも
教えていて仲々多忙な毎日である。合気道以外には何が
好きですか？ ニヤッと笑ってオハナデス。いや、仲々
ユーモアも分る。神戸は大好き。ついでに芦屋も好き。
何故？ 空気がキレイだから。十三は嫌いですねえ……
(現在、十三に住んでいる)。これからもズツと関西に
住んで合気道を教えることだ。また、目下、合氣
道についての本を執筆中。

合気道とは昔の武士道であり、武道は音楽である——
これが彼の持論だ。かつて生地ハリウッドでギターを弾
いていた。これはプロとしてである。映画もつくった。
バレーボールも好きだ。しかし、今はもっぱら合気道。
日本の若者がいかれ(怒れ？)アメリカンの真似事にう
つつを抜かしているとき、M A D E • I N • U S A の彼
は真摯に日本の国技に取り組んでいるのである。



ハツ。ピーなジャズを。

マーサ 三宅(ジャズシンガー)
実(ハモンド奏者)

北野町の坂道にあるダイワナイトプラザ7Fの「サン・ト・ノーレ」がミュージックスポットとして6月6日にオープン。小曾根実トリオが毎夜ピアノとハモンドで演奏をきかせているが、オープニングミュージックセッションにジャズシンガーとして魅力ある唄い手マーサ・三宅を招いた。これからKOBEでいい音楽をとミー坊は張りきっているが、元町のレストランフック神戸店で、マーサ三宅とミュージシャン同士の対話が始まった。

三宅「神戸は皆さん暖かくて家族的だし、食物が美味しいからほんとにいい街」

小曾根「東京は美味しいけど、高いからねえ」

三 宅「ミー坊が音楽にたづさわったきっかけは?」

小曾根「終戦後わが家でよくパーティを開いて、それで音楽にいたがっていたもんだから、レコードでディスクなどをかけて踊ってたんよ。ママが一ぱつしか弾かへん。乙女の祈り。弾いたりね。(笑) そのピアノでマイ・ハッピネスを左手の指一本で弾いた。それがきっかけ。当時ジャズの先生なんていないし、ママのパティに小坂務さんなんかいて、デキシージャズを始め、コンボバンドをやるころにピアノの宮川広さんの後へ入つてジャズを始め、結局、小坂さんところでジャズを覚えましたね」

三 宅「私はクラシックの日本音楽学校の夜間部へ、昼はOLで通つたんです。あるオーディションにうかつて、懐しのブルースとかカンカン娘なんて日本の唄を歌つたけれど感じが足りない。ラテン、アルゼンチンタン

ゴ、シャンソンももう一つびつたりこなくて、ある日セントメンタルジャーニーを唄つたら、それいけるってことですね。でもやはり大橋巨泉さん(元のご主人)と知りあつて、ジャズ一本で始めた方が大成するよとアドバイスされて本格的にやり始めたわけですね。いろいろ結婚して二人の子供に恵まれて、その間3カ月ずつお休みしただけで、ずつと仕事で唄つているんです。私は母一人娘一人で、色んな意味で母がいなかつたらどうにもならなかつたから、私にとって母親は神さまですね」

小曾根「ほくも、ジャズピアノをジャンプ・ポンキートンで左手でジャンプさせて弾いていたら評論家の神戸出身の油井正一さんが、ジェリーロール・モートンのピアノに似てるってラジオ関西で書いて下さった、それでやり続ける気になりましたね。だからテクニックのある繊細なものでなく荒っぽいフィーリングで行くというやり方ね。だからハッピーなジャズで、思考型ジャズではないですね。マーサなんかエラ・フィツジエラルドが出て来ただけで雰囲気があるあの感じを持つてるから、繊細でハッピーというスタイルが持てる人ですよ」

三 宅「お客様にも色々型があつて思考型とエンジヨ

イ型とはT・P・Oに合せてやつてるんです」

小曾根「東京じゃ、ワカツテないのにエカツコするみたいな所がある。有名度で来るみたいなね。マーサとは、神戸のサテスタが最初で、ホテルオーラで12月に仕事して、唄もうまいけれど、すごく人柄がいいの。まあ、とにかくエライ人ほど頭が低いです。渋谷のり子



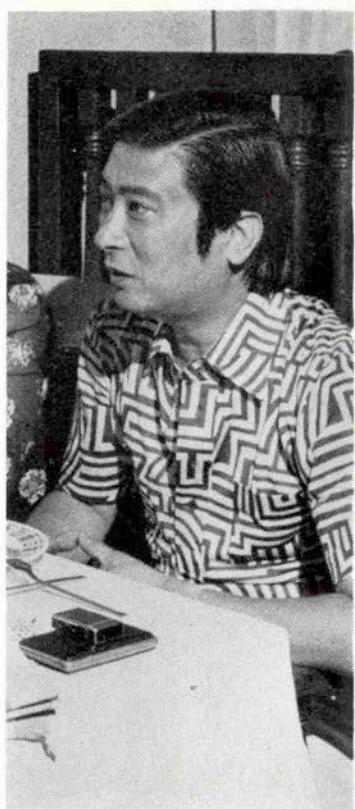
「女の人生を唄いたいわ」マーサ三宅さん

さんのバックを弾いたら、あれだけのベテランが「きたない譜面ですけどお願ひします。」って。大事にやつてあげようと思いますよ。東京じゃ今どこで聞けますか」

三 宅「JAZ Z CLUBミングス、銀座のロク、新宿のバルーン、大阪のロイヤルホテルはマンスリーでやつていて、後、ボーカル教室を週2回開いています」

小曾根「ほくは今晩はサンTVの『奥さん二時』に出ていますが毎夜サンントノーレで演奏して、東京のレッスン場へ二日ほど行くんです。できれば、サンントノーレヘゲストシンガーやブレイヤーが加つてそのままの生放送を送るとか、今迄にないことをやりたいですね」

三 宅「私も月一回ぐらいはお伺いしたいですね。来年は花の中年ご三家の女性版を、松尾和子、坂本ミコと私の三人でやって日本縦断をやってはどうかという話も



「ハッピーなジャズを」と小曾根実さん

あるんです。

ともかく私は、どこにでもいるような、心のののきを持つているような女の人生を唄つていきたいですね。

シナトラが It was a very good year という男の人生を唄つているけれどどんな唄を歌いたいですね。ほんとにあつという間に22年過つて、仕事に恵まれていたからだけど、これからも日本人にアピールするジャズを唄つて行きたいですね」

二人のミュージシャンの話はつきない。サンントノーレのオープニングセッションでは、好きな時間に小曾根実トリオが演奏し、お客様の中に座つたりピアノバーで唄つたりするマーサ三宅の姿には女の充実した唄がリラックスに流れ、なんともKOBEらしい風景だった。



生きざまを舞台に

天本 英世(俳優・ロルカの詩の朗読者)

東仲 一矩(フランメンコ舞踊家・グループ・ウノ・イ・ウノ主宰)

5月28日、芦屋ルナ・ホールで「私はジブシイ」と題された公演があった。これは東仲一矩さんの帰国後初のリサイタルで、フランメンコとロルカの詩の朗読の出会いが話題となつた。感動を呼んだ舞台の次の日――

東仲 天本さんと最初にお会いしたのは、もう10年も前のことになりますね。そのころ僕は学生で、学校より好きな音楽にばかり熱心だったものだから、親とも衝突して家を飛び出していた。金がなくて、それでも少し金が入ると東京へ行って、『カサ・アルティエスター』(芸術家の家の意)というフランメンコの好きな人ばかり集まる店へ通っていた。その店で天本さんと出会いました。

天本 ぼくは、その時のことは覚えていないなあ。

梅田コマで「サウンド・オブ・ミュージック」をやつた時、よばれて神戸でごちそうになつて、その二次会でフランメンコ・ギターを聞かせる店があるっていうんで喜んで行つたら、「天本さん、久しぶりですね」といわれて……。でも、ニニヨ・リカルドのギターが好きだつて話をしたことは覚えていたね。

東仲 ギターを弾くアルバイトをしながら踊りの月謝をかせいでいました。その席で、僕は『ソレアレス』を弾き、天本さんはロルカの詩を朗読なさつた。それが大変強烈な印象で僕を圧して……天本さんという人が強烈に僕の中に入りこんでしまつた。

スペインから帰つて、リサイタルをやろうと考えた時から、天本さんのことが僕の頭の中につながつた。『天本さんのロルカで踊りたいんです』つていつて、神戸で会つて、その場で全くのアドリブで踊つてみたら、すごく

うまくいく感じで……これはやれるんじゃないかな、ぶつつかつていつてもいいんじゃないかな、と。それまでは、はたして踊れるのだろうか、という心配の方が実際には強かつた。ぼくにとっては、ロルカの詩を離れても、天本さんは大きすぎる人だつたから。

天本 フェデリーコ・ガルシア・ロルカってスペインの詩人は、アンダルシアの古い民謡、もちろんフランメンコもその中に入るんですが、それをすごく愛したわけ。ことに、カンテ・ホンドといういはフランメンコの中でも悲痛な、精神的に深い歌で、それがだんだん流行歌のようになつていくことを嫌つて、純粹なものを見残そうと大会を開いたり『カンテ・ホンドの詩』集を編んだ。どれも非常に音楽的に作られている。

それとぼくがなぜロルカの詩をやるかっていうのは、スペインの市民戦争につながるわけです。スペインって国を考えると必ず市民戦争が問題になる。ロルカは戦争の始まつたとたん殺されている。

だからぼくはスペインに行くと非常に複雑な気がするフランスからスペインに入つたとたん、敵国に来たような、つまりロルカを殺した……。サエタのお祭りに会つて、兵隊が鉄砲をかついでたくさん参加しているのを見つて、この連中がロルカを殺した――愕然としたものね。

ロルカは決してわかりやすい詩人ではないんですね。アンダルシアという土地がわかつてないと理解しようのないということがずいぶんあつて。でもぼくの朗読を聞いて、ロルカの詩集を読もうかな、という人がいるかも



「アントニオ・レ・カンボーリオの
セビージャへの途中での捕縛と死」から

しれないでしょう。そうする上スペインの市民戦争にぶつかるでしょう。ぼくがロルカをやるのはそのためです。市民戦争にぶつかってほしいから東仲 ぼくはもつとロルカのことを知りたいなと思うし、そういうなるともう昨日のような舞台は逆にやれなかつたかもしませんね。昨日けもう天本さんに抱かれて踊つたみたいな舞台で。

ぼくが29年生きてきて、10年くらいフランコを踊つてきて、スペインへ行つて帰つてきて、そういうぼく自身のプロセスを天本さんという人には全力でぶつけてみたいという意識で踊りました。

計算どおりの動きはやりたくない、これは前から思つていたから、一人で舞台に乗つた、その時天本さんの口から出てくるのを聞いて、ぼくは体を動かしてみたかった。次にやるのはもつとこわいけれど、でもまた絶対やりたいです。肉体のシユール化つこととか、ダリの辺りからも勉強したいですね。

天本 ぼくはわりと完全主義者だから、日本人がフランコを歌つても踊つても、どうしてもスペイン人にはおつつかないと思っていた。何が及はないかっていうと、結局魂の問題で、これはもう生まれた時からのものだから、フランコに限らず何でも、人が信じて抱つて生きているものと関わつてくるわけです。軽い生き方しかしていない役者は、舞台でいかに重い生き方を演じてみてもどうにもならない。伝わつてくるものがない。

東仲 日本人のフランコはテクニックばかりになるんですね。動いているときはいいんだけど、じつと舞台で立つてはいるだけの方が難しい。踊らないでも空間処理ができる、その人間を感じさせるのが大変なんです。

天本 こんどやるときは、もつといいものができるよ。

（神戸時代にて——）

天本英世さん

東仲一矩さん



潜り戸を通って
“花”のおふくろさんの味を



●こん立て●
たかのり弁当
やよいの里
花そうめん
みむろそうめん
天ぷら
おつくり
玉子どうふ

和風季節料理



11:30A.M.~8:00P.M. 月曜日定休
さんプラザ地階 ☎ 331-0087

新日本華道

天法流



いけばな芸術全集掲載分
柏(かしわ)祥光作

教場新設ごあんない

※元町教場

神戸市生田区北長浜通5-19の5(菊屋ビル6F)

※講師

主宰
井原祥光

日本いけばな芸術協会特別会員(財団法人)

※稽古日

毎週水曜日 PM 2:00~8:00

※詳細は

加古川市加古川町本町2丁目363

TEL. 0794-22-5128

神戸市須磨区北須磨園地D1-716

TEL. 078-742-0831

菊屋ビル6階(4階・他流)



C A T U G

諸岡博熊

（神戸市企画局企画課収事）

れた油圧式のラッチ・システムで強固に結合されている。

× × ×

× × ×

この構想による第一船は、米テ

キサス州のケルソ・シッピング社で建造され、フロリダ州のシーバルク社で昨年末から実用に供せられている。

タグ・ボートは全長三六・九二

メートル、バージは全長一七九・

〇四メートル、両方の組み合わせで全長一九一・八五メートル、トン数四万一八〇〇重量トン。この船はオイルタンカーとして設計されている。タンク容量三二万バー

キヤタマラン（双胴船）とタグ（押し船）とを組み合わせたCATUGは、神戸港のポートアイランドなどの埋立で使用されているバージ・ライン・システムの一方で一九七四年末に開発されたものである。

バージ・ラインは、海上輸送や荷役の効率化、低コスト化をねらったものだが、このCATUGも同様の目的をもつ大型の外洋バージに双胴タグを一体にしたものである。

レル、機関出力一万四〇〇〇馬力、速力一五ノット。

× × ×

× × ×

長所をあげると

①双胴船のため、二個の推進器の間隔が広くなり、推進効率が向上し、振動も減少した。

②バージに、バウスラスターを取り付けて操船性が向上した。

③結合部が双胴船のため、過大な応力が発生しにくく、高価で工作のむずかしい高級鋼を使用しないで済み、船価が安くなった。

④バージとタグを別々に建造するので、同容量の貨物船に比べ、三〇バーセントも建造コストが下った。

⑤普通タイプのバージ・ライン・システムとての一般的特徴は十分備えている。例えば、バージを複数隻用意することによって、交換結合の結果、係船時間の短縮がはかられる。

CATUG概念図

概念図にみられるように、大型バージの後部に、双胴型のタグボートが接合され、一体化されているが、この接合一体化する部分が、バージ・ライン・システムの泣きどころで、各社の工夫のあるものだ。ちなみに、CATUGの場合バージの後端が、クサビ状で長く突き出している。このクサビの船体のあいだにはまり込み、このクサビとタグボート側に設けら

れた油圧式のラッチ・システムで強固に結合されている。

神戸のアーバンデザイン

同業者町シリーズ

⑦

98

摩耶埠頭の倉庫群

水谷顕介+チーム・UR

★港の活動にとって、倉庫は欠かせないもの。そこで、港の歴史、すなわち港の貨物の積みおろしの方式の技術の変遷が、倉庫のかたちに表われています。埠頭に上

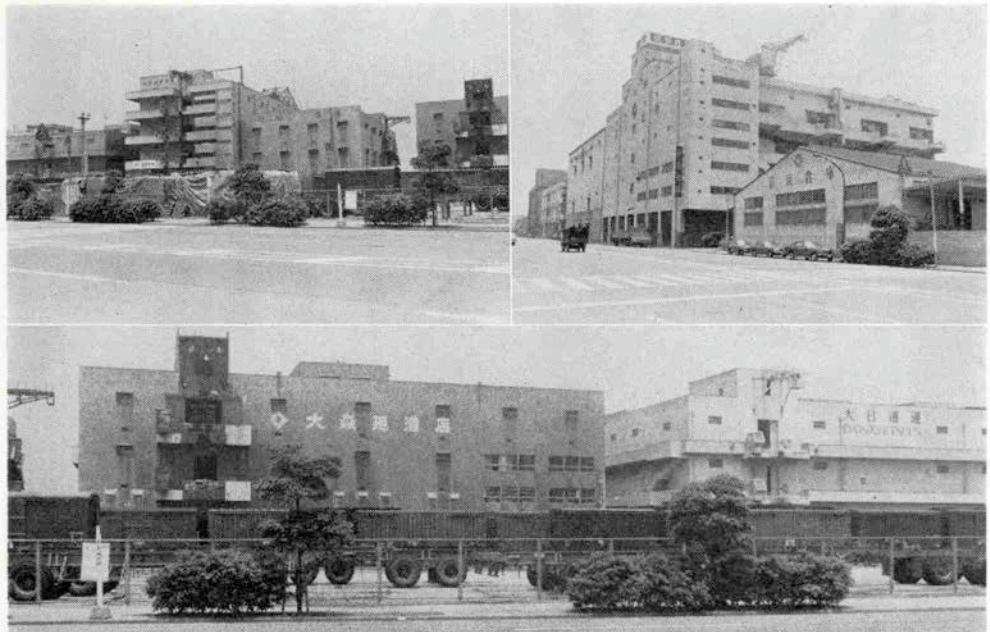
屋がのつてゐる一般のかたち、埠頭の背後に直角方向に倉庫が配置されているかたち、埠頭そのものにサイロや倉庫が組み込まれてゐるかたち、広々とした埠頭が必要になってしまったコンテナー時代のかたちなどです。

一方、倉庫そのものになわされるべき機能が移り変わつてきました。港を出入りする前後、一時的に集められ、預けられる段階、サイロや冷凍倉庫のよう、港といふ機能そのものに直結して、特有の貯蔵分配機能を果す段階、海外との情報網をもつて輸出機種や量を倉庫でコントロールして生産工場に指示を出す、という機能までを持つようになつてゐる。いわば、製品倉庫の役割をも兼ねた流通倉庫の段階、などのいろいろです。

こういった機能の段階によつて、倉庫の内容の沿革は、高度になつてきています。窓もなく、表情の少ないコンクリートの大好きな建物ということであつても、内に入つてみれば、多種多様なのです。

この内容の活動をすべて表に表現したら港がもっと楽しくなるのでは、というわけにもいきませんが、もうちょっと景観としての配慮がほしい、とだれでも思つてはいる……。

（水谷顕介）



道路をはさんで林立する摩耶埠頭の倉庫群

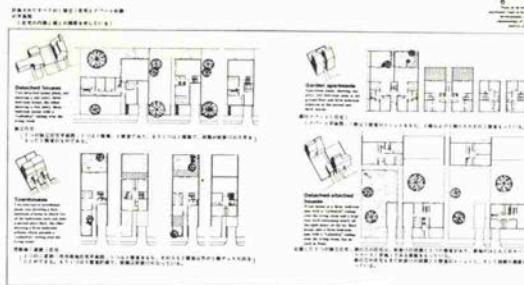
▲普通の道路網



▲コレクター道路によるタウンハウスのクラスター



▲計画されたすべての独立住宅とアパート型の平面図



★アメリカにおけるタウンハウスは、独立住宅、庭つき共同住宅、離れつき独立住宅、の三つの住居形式に対する一つとして規定されています。町家とは違った概念で長屋に近いものでしょう。

そして、同じ敷地の開発に対しても、タウンハウスを活用した場合、単に区画割りした独立住宅を配置したケースに比べて、共用の緑のスペースが大きく、道路率が少なく、大きな床面積の家が数多くとれて好ましく、いといった指導をPUD (Planned Unit Development) 方式としています。

PUDは、生活者住民に対しては、

- (1)より少ない資金でより大きな住宅
- (2)住宅タイプの選択性の拡大
- (3)池とか樹木など保護されたい自然環境
- (4)地区内リクリエーションスペース
- (5)安全な歩行者専用道の確保をはじめとするより安全な道路システム
- (6)学校や商店の便利な配置

といったことを提供でき、一方、デイヴィエロパーや建設業者に対しても、

- (1)低い道路率
 - (2)効率的な供給処理施設
 - (3)排水がよく、移動土量が少ない土地造成
 - (4)より広いマーケットが期待できる多様な住宅タイプの提供
 - (5)多くの住戸と大きな住宅地
 - (6)商店群などをもつた住宅地
- といったことを可能にする手法として位置づけられています。

（水谷頼介）

水谷頼介+チーム・UR

タウンハウス設計考

⑦

神戸のモダーンリビング

98



☆神戸を福祉の町にへ19

橋本 明

（社団法人「家庭養護促進協会」事務局長）



子連絡会館

【説明】第500回のひつじの
あいだは、神戸市内の里親を引
き取られた。

【料金】1年円（税込）1年円

（中古）1年円（税込）1年円

（連絡費人）1万円（税込）

（手数料）1年円（税込）

愛くるしい目鼻立ち

かずえちゃん（溝口二郎・女）

くるひにじと目鼻立ちの愛しい
母の手がわがつてない。二月
の赤ちゃん。じとと頬の丸い方へ
月ほほ頬。かずえちゃんの法被
を脱ぎよつてする。あいだはず
以前からかずえちゃんのひつじ
わざわざひつじ。ミックスの愛しい
かずえちゃん。かずえちゃんを愛してい
るもじ。

「ちらの顔かうほして」とい
ふかずえちゃんを愛してい
るもじ。

君 かずえちゃんを愛してい
るもじ。

こ 溝口二郎

元

いろいろな事情で実の親のもとで暮すことができない
子どもたちを引き取って育てる「里親」という制度は日
本にも古くからあつたが、神戸市では三人と五人の子ど
もたちを引きとつて育てる家庭をとくに「家庭養護寮」

と名づけ、この家庭養護寮を全国的に普及させるために
昭和36年に「家庭養護寮促進協会」という民間の組織が
神戸に誕生した。親の愛情を知らない子どもたちに代り
のパパママになつて暖かい家庭のなかで元気に子ども

たちを育ててもらう里親さんをどうしたらみつけしていく
ことができるだろうか？ 一人でも多くのいい里親家庭

を子どもたちのためにさがしだそうと、昭和37年6月4
日、日本では前例のない画期的な里親開拓方法が試みら
れ、「愛の手運動」の第一歩が始まつたのである。

そのユニークな方法というものは、「この子どものパパ
やママになつてください！」という非常に具体的な形で
子どもの写真と生活歴の概略を神戸新聞紙上に掲載し、
その子どもを引きとつて育ててくれる里親家庭をさがす
方法である。新聞だけでなく、ラジオ関西でも「里親さ
がす」と題して放送され、多くの里親が見つかり、里親開拓

●里親をさがしつづけて14年へ中 マスコミと



里親 開拓運動

がしの時間」という番組を設け、その子どもの状況を電
波で流して広い地域のなかから適当な里親をさがす運動
を展開することとなつた。そして新聞を見たり、ラジオ
を聴いたりして、その子どもを引きとつて育てたいとい
う人は、まず協会で面接し、家庭訪問をして調査した
後、その子どもを養育するにふさわしい里親家庭だと判
断できれば児童相談所に推薦して子どもを委託するので
ある。二年後の昭和39年からは大阪で毎日新聞がこの里
親さがし運動に協力してくれることになり、大阪府下版
掲載し、大阪府下で里親さんをさがしている。

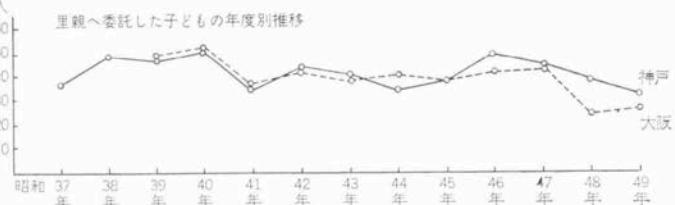
子どもたちの顔写真を新聞に掲載するというのは非常に具
体的で説得力もあるが、プライバシーや人権を侵害する
おそれもあるので、実親や後見人の了解が必要だし、年
長児の場合は顔を真正面から写さず横顔や全身を小さ
く写すという配慮も必要である。顔写真を掲載した結果
行方の知れなかつた親が見つかったり、掲載児童の親が
申し込み者と結婚にゴールインし、暖かい家庭を築いて

いるエピソードなどもいくつかある。

このように、新聞やラジオといったマス・メディアを利⽤して里親を開拓していくと、いうアイデアは今までの日本にはまだなかつただけに、全國の関係者の注目的となつた。マスコミとタイアップして里親を地域のなかからがし出すこの「愛の手運動」が開始されると、里親の数は急カーブで上昇しはじめた。

一回の掲載児童に対し申しだみの数は數十人にもものぼり、大阪の事務所では一人の子どもに対し一〇〇人を越える申し込み者が押し寄せ、職員がテンテコ舞いするということも珍しくはなかつた。平均すれば一人の子どもにつき三〇人ぐらいの申込者があるが、これも掲載する子どもの年令や性別によつてかなりの違いがある。一番申し込み者の多いのは何といつても一才未満の女の子。逆に年令が高くなり、小学生成ぐらいになると申し込み者の数も減つてくる。

現在は申し込み者の多くは夫婦の間に子どもがなく、養子縁組の希望者が非常に多い。子どもを一時的にあつて、実の親のもとでいっしょに暮せるようになれば子どもを返すという、いわゆる純粹里親と、将来は子どもを自分の家の籍に入れてしまつて、家族の一員として生涯いっしょに暮していこうという、養子を前提とした養子里親との比率はだいたい二対八で後者が圧倒的に多い。純粹里親の場合は実親と里子との関係はたえず緊密に保ち、将来実の親子がいっしょに暮していけるように



昭和37年にこの里親さがし運動が始まって以来、49年度末までに15,000人を越える人たちから申し込みがあり、約1,000人の子どもたちが里親家庭に迎えられていきました。

あらゆる努力がはらわれねばならない。が、現実には里親家庭から子どもを引きとつて実親子がスムーズに同じ屋根の下で暮せるようになるケースはきわめて少ないようである。いちど断ち切られた親子関係がもとの自然な絆を結ぶようになるのはなかなか難しいことなのだ。多くの親は自分の身勝手で放り出した子どもたちを二度とかえりみようともしない。放り出された子どもたちは他人の間で重い人生を生きぬいていかねばならない。生まれてももなく親に見捨てられ、二度と実親のもとで育てられそうにない子どもたちの場合は、育て親となつて長い将来にわたつて家族の一員として育ててくれる養子里親に委託し、養子縁組をして安定した家族関係の中で育ててもらう方がよい場合が多い。「養子」というと日本では家業や家名を絶やさないために、家の跡とりとしてもらうものだ、という考え方が強いようだ。親子関係を失つた子どもたちを自分の家族の一員として迎え、実質的に親子の絆を結んで長い将来にわたつて育てていく養子制度というものを、児童福祉の立場からもつと積極的に取りくんでいくてもいいんではないかと思う。

ともあれ、新聞やラジオというマスコミを通して、親に育てられない子どもの養育者を地域のなかから求めるという運動は、マスコミと地域住民とを結びつける新しい役割を果してきましたと同時に、マスコミが地域福祉、家族福祉の向上に貢献する一つの具体例を示すものとなり、神戸新聞とラジオ関西はこの「愛の手運動」の地道な報道により、昭和49年に、第一回井植文化賞（報道部門）を受賞した。

昭和37年にスタートして以来、わたしたちは新聞やラジオの報道によつて、実に一万五〇〇〇人以上の人们から子どもを育てたいという申し込みを受け、そして一〇〇〇人以上の子どもたちが新しい家庭に迎えられていつたのである。

ロンドン・スペシャル

柴田 啓嗣

（柴田商事㈱企画室長）

□愛のテーマ

オーケストラをバックに、エレキギターのユニークなサウンドが、軽快でしかもムードあるハーモニーをかもし出している。アメリカのシンガー・ソング・ライター、パリィー・ホワイトのヒット曲「愛のテーマ」。

ロンドンのファッショニは、ちょうどこの曲のようにクラシック・エレガンスをベースに、ビートルズ、ツイギーで代表される、ヤング向けの自由なファッショングがうまく調和している。

そんなロンドンの「顔」といえるいくつかの店と、そこに集まる人々を紹介しよう。

□ミラベル

ロンドンで最高級といわれる、メイフェアにあるフランク料理の「ミラベル」。クラシックな大理石をあしらつた豪華なインテリアと、ビルの谷間にあるのに年季節の花が咲き乱れる花壇がここのご自慢。「舌びらめのクリーム煮ミラベル風」がスペシャリティ。世界のワースト4に入るロンドン・フードも、一流の店へ行けばさすがにおいしい。客層も四〇代以上の紳士淑女ばかり。ショファーフき

ロールスロイスといったお決まりのコースである。

このジェントルマン・ミラベル風」というのは、さしずめ、サビルロー（背広の語源）近辺の「ハンツマン」、「ホーブス&カーティス」といった超一流テーラーへ行き、ゴールデン・スクウェアエアーにある「ドーメル」、「ホーランド・シェイリー」の生地で仕立てた洋服を着、ダンヒルのパイプをくわえ、ジャーミン通りにあるハービー&ハッドソンでオーダーしたシャツを肌につけ、といつたところできまつている。また、御婦人はナイツブリッジに群がる高級ブティックのドレスで対抗している。これらの店は格からいえば超Aクラスであり、エリザベス女王のファッショニのように品質を重んじ、シンプル・エレガンスを売りものにしている。

□アナベル

統いて登場するのが、世界的に有名なメンバーリストソーシャル・クラブ「アナベル」。同じくメイフェアにあり、ロイヤル・ファミリーをはじめ、ロバート・ケネディ、世界一のモデル、ペルーシカ等がよく顔をみせ、ここのはいには世界中の有名人が名を連ねている。一流の



ヨーロッパの美女が集まる「ドゥローンズ」で。左・筆者。



画家の手による絵のかかる応接間のようなバーでソフトドリンクを飲んでから食事へ。レストランがこれは驚き、四方の壁が全面ガラス張り、テーブルごとにランプが灯り、室内は薄暗く中央にディスコティックがある。イギリスは斜陽といわれるが、ここメンバーミーティングはやはり、世界の社交の中心はロンドンにあると感じたくなる。ここでステーキを注文すると、冗談で「神戸スタイル」と言つて驚いたことに、炭焼きのあら皮風のステーキが運ばれてきた。

身につけているものもステキな「アナベル」の美男美女。彼らにふさわしい店ならまずニューヨーク・ボンド・ストリートの「アスプレイ」。貴金属・アンティック・レザーライド



ウィンザー城をバックに筆者。「ジーンマシーン」で求めたジーンズです。

一等どれも最高のものを揃えている。他にもこの通りには、"グッチ"、"セリーン"、"サンローラン"等のブティックが並ぶ。ナイツブリッジの世界的有名なデパート「ハロッズ」で日用品を買い、リィージェント通りの「アカスキユータム」のコートをけおり、ジンジャー・グループの美容室でカットをし、高級でしかもおしゃれなアナベルの客にはピッタリ。

□ ドウローンズ

ロンドンで最もファッショナブルなレストラン。ポント・ストリートに真白なつくりがひときわ目立つ。ここにはヨーロッパ中からスター、モデルが集まつくる。

テラス風なインテリアで、"小エビ"つきアボガドは他に例をみないおいしさ。ボージョレーのワインを飲みながら、ここスベシャリティードウローンズ・バーが1人を食べるところが見られる。

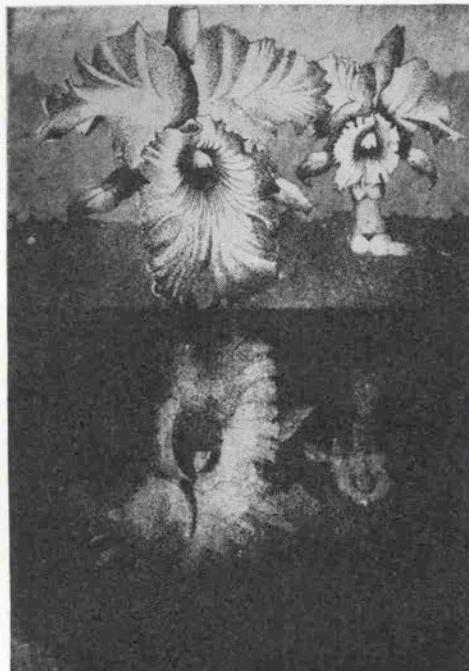
さらに、土曜の午後ともなれば、それは素晴らしいファンションが見られる。女性も最高だ。さすがの私も目を白黒。キヨロキヨロしつばなし。

サスーン・カットに、キングス・ロードにある「ジーン・マシーン」のバギーのジーンズをはいて、無地のシルクのシャツ、ゴールドの金具のついた黒のエナメルのベルト、ハイヒールは「セリーン」か「グッチ」。ゴールドのネックレスに「ビエジエ」の時計をして、ミンクのコートをはおつた女性のいか正在こと、超ファッショナブルな人種が集まつてくる。

クラシックなレンガ造りの建物を背に、ジーンズ・ファッショングの若者がハイヒールをはいてかつ歩する光景が今でもまぶたに浮んでくる。



SALON
KOBEJIDAI



“神戸時代”ちょっと変った名前ですが、新しい神戸時代を目指した神戸っ子のサロンです。

神戸で最もファッショナブルな北野町、山本通界わいのファッショナブルなサロン——“神戸時代”

神戸っ子の憩いの広場であったり、談論風発のサロンにもなり、ミニパーティがひらかれたり、ミニ発表会が行なわれたり素晴らしい情報交換の場になります。

その神戸時代で、壁面を利用して、SALON 神戸時代ギャラリーを開いております。石阪春生先生の素描展に続きまして、松本宏先生のエッチングと水彩の作品をかけさせていただくことになりました。おさそいあわせご鑑賞くださいますようご案内申し上げます。

SALON
神戸時代ギャラリー

松本 宏
エッチング・素描展

6月5日→8月5日

SALON 神戸時代
神戸市生田区中山手通1丁目28
モンシャトーコトブキビル1F
TEL. 242-3567

神戸っ子海外旅行アトランダム

● 神戸っ子愛読者サービス海外旅行

1 〈パンコック4日間〉

¥一四五、〇〇〇を¥一〇〇、〇〇〇円に

(定価)

(愛読者サービス料金)

六月二十一日(土)～六月二十四日(火)

コース／大阪～パンコック～大阪

★毎朝食と到着日のディナーショー及び観光日の昼食付

2 〈香港4日間〉

¥一一八、〇〇〇を¥七八、〇〇〇に

(定価)

(愛読者サービス料金)

六月二十八日(土)～七月一日(火)

コース／大阪～香港～大阪

★全行程三食付マカオ日帰り観光を含む

3 〈シンガポール・香港5日間〉

¥一八五、〇〇〇を¥一〇八、〇〇〇に

(定価)

(愛読者サービス料金)

八月二十三日(土)～八月二十七日(水)

コース／大阪～シンガポール～香港～大阪

★毎朝食及びシンガポール・香港到着日の夕食付

4 〈ハワイ6日間〉

¥一七六、〇〇〇を¥一三八、〇〇〇に

(定価)

(愛読者サービス料金)

九月十一日(木)～九月十六日(火)

コース／大阪～東京～ホノルル～東京～大阪

★到着日の昼食のみ

5 〈ハワイ6日間〉

¥一七六、〇〇〇を¥一二〇、〇〇〇

(定価)

(愛読者サービス料金)

二月一日(木)～二月十六日(火)

コース／大阪～東京～ホノルル～東京～大阪

★到着日の昼食のみ
(ヨーロッパツアーアー)

二月一日(土)～二月九日(日)十日間

①パリフリーコース¥二三八、〇〇〇(定員六〇名)
②パリ・マドリード・ローマコース
¥三〇八、〇〇〇(定員四〇名)九月三〇日(火)

★①～⑥までのコースのお申込みは月刊神戸っ子トラベル係へ電078(331)2246

ユニーアクな海外旅行いろいろ

A 東アフリカ・サファリへの旅

昭和五〇年一二月二六日～五一年一月一一日(一七日間) ¥六五〇、〇〇〇

定員一二名(サファリバス二台) / 切五〇年一〇月三一日

エスコート／福岡康年(アフリカスペシャリスト)

ドッドウェル ヨーロッパツアーアー

スイスとパリでゆつくりしたスケジュール

昭和五〇年八月一日(金)～八月一〇日(日)一〇日間 ¥三三三、〇〇〇

約三〇名 / 切昭和五〇年七月一四日

ロッテルダム号(オランダ客船38000トン)船旅

パンコック(51三月八日)パタヤビーチ避暑地～ロ

テルダム号～香港(51三月一四日)～広州一泊二日

のツアーワー予定中～神戸港(51三月二〇日)

¥六五〇、〇〇〇 ファーストクラスバス付

定員二〇名 申込み/切日昭和五〇年一二月三〇日

ブリセンダム号(オランダ船1万トン)船の旅

香港(51四月二九日連休初日)～基隆(51五月二日)～神戸(51五月五日) ¥二五〇、〇〇〇 ⑩グ

レイド 定員三〇名 申込み/切昭和五〇年一二月三〇日

Ⓐ / Ⓛともに取扱代理店は

トドドウエルトラベルサービス／神戸(251)〇〇二二

大阪06(443)八七二三東京03(211)二一四一内線七五四

★お問合せお申込みは神戸っ子トラベル係へ
TEL078(331)2246